

# 窒息事故防止

窒息とは	4つのハザード	防止策	一番怖いのは
Preparation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溺れる（溺水）</li> <li>・首が絞まる・押さえられる（絞扼）</li> <li>・鼻と口が覆われる（布団等による窒息）</li> <li>・喉または気管に詰まる（誤嚥窒息）</li> </ul> <p>ハインリッヒの法則の中等度が一切なく、息のできない状態が解除されるか、状態が続いて死亡するか脳に障害が残るかの2極であるためヒヤリハットにあがらない。</p>	<p>窒息は数分で死ぬことを念頭に、それぞれのハザードを完全に排除することが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水はたまり水等、園庭で遊ぶ前にすべて捨てる。</li> <li>・ひもやロープも子どもが触れないようにしておく。遊具等の構造の点検。</li> <li>・ガーゼ、布団、ぬいぐるみ、タオルなどは睡眠時、子どもの顔周りからどかす。</li> </ul>	<p>4つのハザードで一番怖いのは誤嚥。他の3つは見つけたらすぐに解除できる。誤嚥窒息は、見つけてすぐに下記のような対応をしようと、出ないときは出ない。救急隊が到着し努力しても、取り出せないときもある。今まで「のどに詰めたけど、すぐに出たから大丈夫」は大間違い。次にまた出てくるとは限らない。</p>

誤嚥窒息	どこに詰まるか	なぜ詰まるか	対処方法
Emergency	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喉（喉頭・気道の上部）に詰まる</li> <li>・気管に詰まる。 の2種類がある</li> </ul> <p>イチゴ等の木製おままごとやスーパーボール、ミニトマトや白玉等が喉に、イクラやナッツ、大豆等々が気管に詰まった死亡例あり。39mmトイレットペーパーの芯の中を通るものは誤嚥の可能性があるというのは古い基準。今は45mmと32mm。自分の親指と人差し指で輪を作り、何ミリあるか計っておくと便利。</p>	<p>泣いたり笑ったり、驚いた時、身体を動かした時などに、急に息を吸い込み、喉や気管に物が詰まる。だから食事は、落ち着いた環境で、床にしっかり足を付け、行儀よく食べることが肝要。</p> <p>詰まってむせている時に背中をたたくのはNG！（驚かせているのと一緒に）むせても出なく、閉塞してからまずは119番。</p>	<p>1分1秒を争うのでまずは119番通報。</p> <p>1歳未満の場合 背部叩打法と胸部突き上げ法を交互に</p> <p>1歳以上の場合 腹部突き上げ法（ハイムリック法）</p> <p>それぞれ交互に行うことで、体位が変わることにより、取り出しやすくなることもある。救急隊が来るまで続ける。</p>

事後対応と予防	詰まったものが出た場合も病院へ！	誤嚥しやすい食材！	予防策
Strategy	<p>詰まったものが出ていても気管に残っている場合や、肺に入ってしまった場合もあります。（傷害速報45の事例）</p> <p>保護者にも連絡し、「搬送先の病院が決まったら再度連絡します」と電話がすぐとれるよう依頼しておく。</p>	<p>丸いもの ミニトマト、白玉、あめ玉</p> <p>イクラ、ブドウ、ナッツ、豆？</p> <p>くっつきやすいもの のり、もち、わかめ</p> <p>水分が少なくばさばさしたもの パン</p> <p>イモ、ゆでたまご</p> <p>噛み切りにくいもの こんにゃく、いか</p> <p>たこ、きのこ、ゼリー</p> <p>ばらばらになるもの ひき肉、ブロッコリー</p>	<p>食材は小さく切っても気管には詰まる。（2歳児の気管の直径は6mm程度）</p> <p>歯で食材を咀嚼し嚥下がしっかりできるようになるのには個人差があり、嚥まらずに丸のみする子が誤嚥しやすい。</p> <p>歯の本数、食べ方のクセなど個人差に留意しつつ、落ち着いた環境で食事介助することが望ましい。幼児で嚥下機能が発達しても、同様である。</p>

**窒息のハザードはすべて取り除いておくこと！食べ物は全て詰まる可能性があるため、食事は落ち着いて行儀よく！**

園内への導入ポイント

---

① 環境の点検

溺水 バケツ、タイヤ、排水溝、金魚鉢、砂場のシート、汚水槽等々、たまり水の撤去。

絞扼 遊具やフェンス等の形状、カーテンのタッセル、ブラインドの紐、縄跳び、肩掛けカバンの紐の管理。パーカーの禁止。▽になっている場所(子どもの頭が入る三角の空間)をなくす。

(参考資料)

<https://www.city.zentsuji.kagawa.jp/uploaded/attachment/8664.pdf>

鼻と口が覆われる ベビーベッドの構造、ベッドのサイズと布団のサイズ。保育士の目が届かない時間であっても、窒息事故がおこらないようハードを設定。

② 誤嚥チェッカー 以前は直径39mmの筒に通るものが危険と言われていたが、EUの新規格では45mmと32mmの二つのサイズが36か月児の喉（入り口と奥）に詰まるとされている。4,5歳児でも口に物を入れるのが好きな子もいるので、その場合はさらに大きなものでも詰まる

③ 参考リンク等

政府インターネットテレビ「窒息事故から子どもを守るために」

<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg16245.html?t=133&a=1>

日本小児呼吸器学会「小児の気道異物事故予防及び対応」

[http://ispp1969.umin.jp/ind\\_img/cc03.pdf](http://ispp1969.umin.jp/ind_img/cc03.pdf)

傷害速報 No.45「大豆の誤嚥」

<https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/injuryalert/0045.pdf>

保育の安全研究・教育センター「誤嚥と誤飲の新しい基準」

[https://daycaresafety.org/topics\\_acc\\_ingestion.html](https://daycaresafety.org/topics_acc_ingestion.html)